



前回は「ファッション」という慣れない企画テーマを頂き、場違いなコメントを出してしまったのを後悔しています。短絡的に「ファッション=衣服」と早合点してしまったのが不覚で、Tomy Jr.さんの仰るようにファッションを趣味・嗜好とか生活様式のように幅広くとらえるべきでした。その視点に立つともっともっと面白い光景が見えてきます。それを今回は書いてみたいと思います。

先の企画で一番印象的だったのはCaccoさんのコメントでした。「洋服はとっても好きです。一度お金のことを考えないで買い物をしてみたい。」そうだ！そんな情熱というか衝動というか熱気と言うか、そういうことを感じるものがファッションというものではないだろうか。こと服装に関しては私は残念ながらそういうものを感じる事がないけど、他に何もそんな情熱を感じる物がなくなると、ちょっと淋しい人生だなあ、なんて思いながら自分の周りを見ると、ちゃんとありました。文房具特に筆記具が多分そうです。

筆記具を単に字を書くための道具と見れば、おそらく私が持っているボールペンは死ぬまで絶対に使い切らないでしょう。何十本もあるボールペンの一つでもインクを残りの人生で使い切るかどうか。ひょっとしたら生まれ変わってもう一度人生をやったとしても使い切らないかも知れない。それでもまだ街で一風変わった筆記具を見ついたらつい買いたくなってしまう。

筆記具への執着は子供の頃からでした。大学に入って小遣いが自由に使えるようになったら食費を削ってモンブランの万年筆を買いました。会社に入って初任給をもらおうとペリカンの万年筆が無性に欲しくなって買ってしまいました。普段は「ブランド志向は判断能力のなさを自分から認めるようなものだ」などと馬鹿にしている本人が、こと筆記具に関してはブランド志向丸出しなんだから、笑ってしまいます。で最近では展示会などで安物の四色ボールペンなんかを貰うと不思議に嬉しくなってしまいます。

贅沢とはちょっと違う。無駄だと分かっているのに、それに執着してしまう。Caccoさんが洋服に感じる思いを私は自分の筆記具に対する思いから想像している次第です。

文房具以外ではパソコンがそんな感じでした。アップルのマッキントッシュが好きだった私はMacPlusを買うとすぐにSE30が出てこれが無性に欲しくなりました。次にはIISiが出て欲しくなり、MacBookが出て欲しくなり、iMacが出て欲しくなり・・・勿論全部は買いませんでしたが、とにかく今持っている物が十分使えるのに次の新しい物が欲しくなる。ファッションとは何かこう次々に購買意欲をかきたてる何かを持っている物なのでしょう。

洋服に関しては私はそんな感じがありません。使える（着れる）間は擦り切れて穴があくまで使い切りたい。パンツのゴムがゆるくなったら、ゴムを入れ替えて使いたい。多少の難点があったとしても、なんとかごまかしごまかし使い切りたい、そう思います。

家電の中では冷蔵庫やテレビは使い切りたい部類に入ります。パソコンならちょっと動作がおかしくなったら、待ってましたとばかりに新しい物を買いに走るのですが（実は最近パソコンに関しても使い切り派になって来ましたが）、冷蔵庫やテレビは部品交換で直るものなら何とか直して使い続けたい。この差はどこから来るのでしょうか？

個性？確かに冷蔵庫やテレビは日立だろうが東芝だろうが余り違いが感じられません。パソコンだと Mac か Windows かでは全然違うし、筆記具に関しても手に持った感触とか書き味とかインクの色とか線の太さとか微妙な違いが個性を主張しているように思います。

個性があるからこそ、違うものが欲しくなるし、新しい物が欲しくなる。

では没個性な製品群は価値がないのでしょうか。その物には価値がなく、その物が果たしている機能さえ手に入ればいいから、だから何とか直して直して使い切りたいのでしょうか。

ここまで考えてふと家族の事を思い起こしました。家族は冷蔵庫型なんだろうかファッション型なんだろうか。女房はどうだろうか。

愛人とか妾とか、残念ながら私は持った事がないので正確な事は分かりませんが、想像するにおそらくファッション型なんだろうと思います。次々に新しいものが欲しくなる、目移りがする、使い捨てタイプ。でも女房は間違いなく冷蔵庫型であると思います。何度も喧嘩をして、愛想も何も尽き果てた、と言いながら結局元の鞘に納まっている。広い世の中、中には女房をファッション型のように取替え、何度も離婚と結婚を繰り返す人もいますが、外から見ているとそういう人たちはあまり幸福そうに見えません。女房は冷蔵庫型の方が幸福に近いような気がします。多少の難点には目をつむって、騙し騙し擦り切れるまで付き合った方が良いでしょう。

確か冷蔵庫は個性がなく、機能さえ満たせば個別の冷蔵庫そのものはどうでもよい、というようなものだったはず。女房もそうなんだろうか？何か違うような気がするのですが・・・そもそも「自分」はどうだろう。新しい別の自分にワープ出来るとしたら、喜んでする人がどれだけいるのだろうか。私は私のままで、数ある欠点と共に最後まで付き合いたいと思います。

人生は冷蔵庫、ファッションではない、とそう思うのですが、皆様はどう思われるのでしょうか。